

ジェスチャーで赤ちゃんに気持ち共有

# ベビーサイン 子育てのお助け

言葉を話す前の赤ちゃんに、手話やジェスチャーで意思疎通する「ベビーサイン」の教室を長田幸子さん(金沢)＝白山市相木町＝が六月から開講した。赤ちゃんにコミュニケーションが取れず子育てに悩む親が、ベビーサインを通して会話することで、信頼関係を築けるよう手助けをする。

(青山尚樹)

長田さん自身も、初めての子育てで泣きやまない娘に困り、心身ともに疲弊した経験がある。同じ同協会によると、ベビーサイン

は一九九〇年代半ばに米国で始まった育児見方。簡単な手の動きと語りかけで、話せない赤ちゃんに感



## 24日に体験会 白山の長田さんが教室

情を共有し、互いのストレスを軽減できるなどのメリットがある。教室では、赤ちゃんの手を使って「もつと」「さむい」「おっぱい」といった簡単な意思疎通を図る。赤ちゃんの考えを分かちあげられると、子育てが楽しくなるという。長田さんは「赤ちゃんにコミュニケーションを取る楽しさを体感してほしい。気軽に参加してもらえれば」と話す。

教室は、言葉を話すまでの生後六～二十四カ月ほどの赤ちゃんが対象。月に二回、自宅や市松任公民館で実施する。二十四日には、白山市平松町の「トイザらス・ベビーザラス松任店」で、ベビーサインの無料体験会を開く。体験会の申し込みは「日本ベビーサイン協会」ホームページから。教室の問い合わせは長田さん＝電076(274)5017＝へ。



ベビーサインの教室を開いた長田幸子さん＝白山市相木町で